

基調講演



後藤 春彦

早稲田大学創造理工学部長・教授／日本都市計画学会会長

1957年生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了・工学博士。三重大学工学部助教授、早稲田大学理工学部建築学科助教授を経て教授。これまでに、世界居住学会副会長、日本生活学会会長ほか歴任。現在、総務省「地域の元気創造有識者会議」委員、内閣府「地方分権改革有識者会議」議員も務める。日本建築学会賞(論文)、日本都市計画学会賞(計画設計賞)ほか受賞。著書・訳書に、「場所の力(ドロレス・ハイデン著)」(学芸出版社)、「まちづくりオーラル・ヒストリー」(水曜社)、「景観まちづくり論」(学芸出版社)、「生活景」(学芸出版社)等。

分科会

第1分科会

市町村の枠を超えた社会的ネットワーク



コーディネーター **辻 琢也** 一橋大学大学院法学研究科教授

1962年北海道生まれ。東京大学大学院博士号取得。東京大学助手等を経て、2005年より現在に至る。このほか、「第30次地方制度調査会」委員、国土交通省「社会資本整備審議会」委員、総務省「地方財政審議会」専門委員、文部科学省「中央教育審議会」臨時委員、総務省「定住自立圏構想の推進に関する懇談会」委員、総務省「基礎自治体による行政サービス提供に関する研究会」座長等を務める。

事例発表者

- 牧野 光朗 長野県飯田市長
- 大久保 貴 滋賀県彦根市長
- 中貝 宗治 兵庫県豊岡市長

第2分科会

都市と農村の交流



コーディネーター **藤田 武弘** 和歌山大学観光学部教授

1962年生まれ。大阪府立大学大学院農学研究科博士後期課程修了、博士(農学)。大阪府立大学農学部助手・専任講師、和歌山大学経済学部教授を経て、2007年から現職。中国北京農学院の大学院客員教授も務める。専門は、フードシステム論、地域農業論。主な著書に「食と農の経済学」(ミネルヴァ書房2004年)、「都市と農村」(日本経済評論社2011年)等。

事例発表者

- 更谷 慈禧 奈良県十津川村長
- 藤澤 直広 滋賀県日野町長
- 渋谷 俊彦 鹿児島県出水市長

第3分科会

小さな自治で支える暮らし



コーディネーター **松永 桂子** 大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授

1975年京都市生まれ。専門は地域産業論、地域社会経済。大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得、博士(経済学)。島根県立大学講師、准教授を経て、2011年より現職。総務省「RMO(地域運営組織)による地域総合生活支援サービス研究会」委員等を務める。著書に「創造的地域社会」、「農」と「食」の女性起業(共編著)、「震災復興と地域産業」(共編著)等。

事例発表者

- 速水 雄一 鳥根県雲南市長
- 上平 一郎 奈良県下北山村長
- 大久保 憲一 長野県根羽村長

全体会総括 パネルディスカッション

総括コーディネーター **小田切 徳美**

明治大学農学部教授



1959年生まれ。東京大学大学院博士課程修了(農学博士)。高崎経済大学、東京大学を経て、2006年より現職。専門は、農村政策論、地域ガバナンス論。日本学術会議連携会員、ふるさとづくり有識者会議座長(内閣官房)、国土審議会委員(国交省)、過疎問題懇談会委員(総務省)等を務める。主な著書に、「農山村再生」「地域づくり読本」(共著)等。

パネリスト

- 辻 琢也 第1分科会「市町村の枠を超えた社会的ネットワーク」コーディネーター
- 藤田 武弘 第2分科会「都市と農村の交流」コーディネーター
- 松永 桂子 第3分科会「小さな自治で支える暮らし」コーディネーター

分科会終了後、分科会での議論をふまえて、全体会総括にてパネルディスカッションを行います。

地域の元気創造 全国市町村長サミット in 奈良

参加
市町村長
募集

吉野山(吉野町)

雲海(野迫川村)



法隆寺(斑鳩町)



石舞台古墳(明日香村)



東大寺 盧舎那仏(奈良市)

日程 平成26年
1月14日(火)・15日(水)

会場 奈良県新公会堂(1月14日)
〒630-8212 奈良市春日野町101
1月15日は現地視察

主催：総務省・奈良県

※の写真提供 一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー

プログラム

14日

- 基調講演 後藤 春彦(早稲田大学創造理工学部長)
- 分科会 ① 市町村の枠を超えた社会的ネットワーク
② 都市と農村の交流
③ 小さな自治で支える暮らし

全体会総括 パネルディスカッション
市町村長交流会

15日

- 現地視察 ① ならまち・平城宮跡コース
② 初瀬門前町・長谷寺・今井町コース

人口減少の到来、地域間格差の拡大、コミュニティの脆弱化など難しい課題に直面している中において、日本経済の再生に向けて、地域の活性化を図っていくことが求められています。このため、全国の市町村長等が一堂に会して議論・交流を行うことを通じて、地域活性化の一層の進展・普及を図ることを目的に、全国市町村長サミットin奈良を開催いたします。開催にあたり、全国の市町村長の方々、自治体職員や市民の方々等の一般参加者を募集いたします。



全国市町村長サミット in 奈良

参加ご希望の方は、希望される分科会の番号(左記参照)、交流会・現地視察参加の有無と希望コースを下記申込書に記入の上、ファクシミリにてお申し込みください。(申込多数の場合は、ご希望に添えない場合があります。)締切後、サミット開催日の1週間前を目途に、参加分科会等をお知らせする申込受付書をFAX送信します。

- **参加対象者** 市町村長、自治体職員、地域づくり団体関係者の方々その他市民の方々等の一般参加者を募集いたします。
- **参加費** サミット：無料 市町村長交流会：4,500円

※ 交通・宿泊の手配については、各自でお願い致します。なお、近隣の宿泊施設の紹介を御希望の方は、下記申込窓口までお問い合わせ下さい。

お申し込みの流れ

- 参加申込書のFAX送信** **FAX：03-5362-0124**
申込窓口業務委託業者：株式会社オーエムシー
- 申込受付書の発送** 参加分科会の調整後、申込書記載の連絡先宛に参加分科会等をお知らせする申込受付書をFAX送信します。(開催1週間前予定)
- 参加費用の振り込み** 市町村長交流会に参加される方については、参加費用をご負担頂きます。支払い方法は上記②の申込受付書記載の口座への振込となります。(振込み費用はご負担ください)
- 当日来場・受付** 申込受付書をお持ち下さい。

参加申込書

申込締切日：平成25年12月16日

連絡担当者名	ふりがな	連絡先住所	〒		-			
TEL		所属						
FAX		E-mail						
	氏名	職名	分科会 (1/14)			交流会 参加	現地視察 (1/15)	
			第1希望	第2希望	第3希望		第1希望	第2希望
1	ふりがな							
2	ふりがな							
3	ふりがな							
4	ふりがな							
5	ふりがな							
記入例	ふりがな なら いちろう 奈良 一郎	〇〇市長	③	②	①	○	②	①
サミットの当日、参加していただいた市町村用のPRスペースを検討しております。PRスペース希望の有無を右欄にご記入下さい。(スペースの都合により、調整させていただく場合がありますので、ご了承下さい。)							PR希望	

申込等の個人情報については、本サミットに係る目的以外での利用はいたしません。

申込窓口 株式会社 オーエムシー 担当：進藤・藤巻 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34-1 新宿御苑前アネックスビル
TEL 03-5362-0120 FAX 03-5362-0124

1月14日(火) 13:00~17:20

- 12:00 受付
- 13:00 全体会 総務省挨拶／開催地挨拶
- 13:10~13:50 **基調講演** 後藤 春彦 (早稲田大学創造理工学部長・教授／日本都市計画学会会長)
- 14:05~16:05 **分科会** 3つのテーマの分科会に分かれ、各分科会のコーディネーターと発表される市町村長の方々に取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。
- ① 第1分科会 **市町村の枠を超えた社会的ネットワーク**
コーディネーター 辻 琢也 (一橋大学大学院法学研究科教授)
 - ② 第2分科会 **都市と農村の交流**
コーディネーター 藤田 武弘 (和歌山大学観光学部教授)
 - ③ 第3分科会 **小さな自治で支える暮らし**
コーディネーター 松永 桂子 (大阪市立大学大学院創造都市研究科 准教授)
- 16:20~17:20 **全体会総括** **パネルディスカッション**
各分科会での議論を踏まえて、総括コーディネーター、分科会コーディネーターで議論・検討を行います。
総括コーディネーター 小田切 徳美 (明治大学農学部教授)
- 17:35~18:45 **市町村長交流会** 市町村長等による意見交換、情報交換の場として交流会を実施します。(参加費4,500円)

1月15日(水) 現地視察

① ならまち・平城宮跡コース

- 9:00 奈良県庁屋上
9:15 ならまち
10:30 平城宮跡【第一次大極殿】
11:05 平城京歴史館
12:00 近鉄奈良駅

ならまち



ならまち

平城京への遷都以来の長い歴史を持つ町。江戸時代末期から明治時代にかけての町家が数多く残る。1980年代から町並みを活かしたまちづくりが行われ、現在では多くの観光客が訪れる。

平城宮跡



第一次大極殿

710年から都として栄えた平城京の中央北端に位置する宮殿跡。国の政治や儀式を執り行った第一次大極殿は、710年の平城京遷都からちょうど1300年にあたる2010年に復原整備された。

初瀬門前町・長谷寺



奈良・長谷寺

初瀬(はせ)は中世以降、長谷寺の門前町・伊勢詣の宿場町として栄えた町で、住民組織が中心となり、景観まちづくりの取組を行っている。長谷寺は奈良時代創建のお寺で、日本でも有数の観音霊場として知られる。

今井町



今井町

戦国時代に一向宗の門徒らによって称念寺を中心とする寺内町として成立。やがて「海の堺」に対する「陸の今井」と称される自治都市に。当時の町並みを色濃く残し、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

② 初瀬門前町・長谷寺・今井町コース

- 8:10 奈良発
9:30 初瀬門前町
10:00 長谷寺
12:00 今井町
13:00 近鉄大和八木駅